

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

## 3 限 選 択 科 目 (60 分)

## 〈注意事項〉

1. 問題冊子・解答用紙では試験科目名を以下のとおり表記している。

| 科 目 名          | 表 記   | ページ   | 科 目 名       | 表 記   | ページ   |
|----------------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| 公共, 政治・経済      | 政治・経済 | 2～29  | 歴史総合, 日本史探究 | 日 本 史 | 30～46 |
| 歴史総合, 世界史探究    | 世 界 史 | 48～65 | 地理総合, 地理探究  | 地 理   | 66～78 |
| 数学Ⅰ・Ⅱ, 数学A・B・C | 数 学   | 80～85 |             |       |       |

2. 試験開始の合図があるまで, 問題冊子を開かないこと。

3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

4. 科目の選択は, 受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。  
一度選択した科目の変更は一切認めない。5. **数学**については, 定規, コンパス, 電卓の使用は認めないので注意すること。

6. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では, 鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シャープペンシルなどを使用しないこと)。

## 記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は, 消しゴムでよく消してから, あらためてマークすること。

3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。

4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

7. 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (日 本 史)

〔 I 〕 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

乙巳の変の後、孝徳天皇<sup>a</sup>の即位とともに中大兄皇子が皇太子となり、新政権<sup>b</sup>のもとで改革が進められた。孝徳天皇の没後、齊明天皇の時期には朝鮮半島<sup>c</sup>の動乱に大軍を派遣するなどしたが、大敗した。中大兄皇子は近江大津宮で即位して天智天皇となり、670年には庚午年籍<sup>d</sup>を作成した。天智天皇の没後に大友皇子と大海人皇子との間に皇位継承をめぐる争いが起こり、大海人皇子は東国の豪族たちの軍事的な動員に成功して勝利し、飛鳥浄御原宮において即位した。

天武天皇の諸政策を引き継いだ持統天皇は694年に藤原京<sup>e</sup>に遷都し、710年には元明天皇が平城京へと遷都した。8世紀初めに藤原氏が政界に進出すると、藤原不比等<sup>f</sup>は娘の宮子を文武天皇に嫁がせ、文武天皇の皇子にも娘の光明子を嫁がせて天皇家との強固な関係を結んだ。こうした動向のもとで、大伴氏や佐伯氏など旧来の豪族の勢力が次第に後退していった。不比等の死後には皇族の長屋王<sup>g</sup>が右大臣となって政権を握った。これに危機感を抱いた不比等の子の武智麻呂・房前・宇合・麻呂の4人の兄弟は策謀によって長屋王を自害させ、光明子を聖武天皇の皇后に立てた。ところが4兄弟は疫病によって相次いで没したため、藤原氏の勢力は一時的に後退した。これにかわって橘諸兄<sup>h</sup>が政権を握り、聖武天皇に信任された吉備真備や玄昉が活躍したが、両者の排除を求めた藤原広嗣<sup>i</sup>が大規模な反乱を起こした。この乱が鎮圧された後、天皇は数年にわたって都を転々と移した。

聖武天皇の娘である孝謙天皇<sup>j</sup>の時代には藤原仲麻呂が勢力を伸ばした。その後、仲麻呂は淳仁天皇を擁立して恵美押勝の名を賜り、権力を独占して大師(太政大臣)にのぼった。ところが僧の道鏡<sup>k</sup>を寵愛した孝謙太上天皇が淳仁天皇と対立し、このため恵美押勝は764年に挙兵したものの、太上天皇側に機先を制されて敗死した。その結果淳仁天皇は淡路に配流され、孝謙太上天皇が重祚して称徳天皇となり、道鏡も権勢をふるうこととなった。769年に神託があったとして称徳天皇が道鏡に皇位をゆずろうとする事件が起こったが、これは和気清麻呂<sup>l</sup>らによって阻止された。

問1 下線部 a について、孝徳天皇に関する記述として誤っているものはどれか。

次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 孝徳天皇は推古天皇の孫にあたる。
- イ 孝徳天皇は皇極天皇の譲位を受けて即位した。
- ウ 孝徳天皇の子である有間皇子は謀反の疑いを受けて処刑された。
- エ 皇極天皇と孝徳天皇はともに茅渟王の子である。

問2 下線部 b について、この新政権に**関係のない**人物は誰か。次のア～エのなかから一人を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 蘇我倉山田石川麻呂
- イ 阿倍内麻呂
- ウ 穴穂部皇子
- エ 高向玄理

問3 下線部 c について、朝鮮半島をめぐる動乱の内容として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 660年に百済が唐と新羅によって滅ぼされた。
- イ 663年に高句麗が唐と新羅によって滅ぼされた。
- ウ 668年に倭の大軍が唐と新羅の軍勢に大敗した。
- エ 676年に唐が朝鮮半島の支配権を確立した。

問4 下線部 d について、庚午年籍に関する記述として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 庚午年籍は農民支配のための根本台帳であり、以後、六年一造の体制が確立した。
- イ 庚午年籍は戸を単位として人民を把握した戸籍であり、毎年造るものとされた。
- ウ 庚午年籍は廃棄された後に東大寺で再利用され、正倉院に現存している。
- エ 庚午年籍は最初の完備した全国的な戸籍であり、氏姓を正す根本台帳とされた。

## 日本史

問5 下線部 e について、藤原京に関する記述として誤っているものはどれか。

次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 藤原京は香具山，畝傍山，耳成山の大和三山を擁する地に造られた。

イ 藤原京は東西約4.3km，南北約4.8kmの長方形で，東に外京があった。

ウ 藤原京の中心部にあたる藤原宮には礎石建ちで瓦葺きの大極殿・朝堂院が建てられた。

エ 藤原京の造営は天武天皇の時期に開始された。

問6 下線部 f について、藤原不比等の孫にあたる人物は誰か。次のア～エのなかから一人を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 藤原冬嗣      イ 藤原仲成      ウ 淡海三船      エ 藤原百川

問7 下線部 g について、長屋王に関連する記述として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 長屋王は大友皇子の孫であり，高市皇子の子供である。

イ 平城宮跡からは，「長屋親王」と記された木簡が出土している。

ウ 長屋王の妻は，元明天皇の娘の吉備内親王である。

エ 長屋王が政権を掌握している時期に出羽国がおかれた。

問8 下線部 h について、橘諸兄政権の時期の出来事として誤っているものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 国分寺建立の詔が出された。

イ 伊治砦麻呂の乱が起こった。

ウ 大仏造立の詔が出された。

エ 墾田永年私財法が制定された。

問9 下線部 i について、藤原広嗣に関する記述として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 広嗣は橘諸兄政権の時に大宰府に左遷された。
- イ 広嗣は藤原北家の房前の子として勢力をふるった。
- ウ 広嗣は長岡京の造営に携わった藤原種継の兄である。
- エ 広嗣は国司として赴任した筑後国で力を蓄えていた。

問10 下線部 j について、孝謙天皇の時期の出来事として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 鎮守府が多賀城から胆沢城に移転した。
- イ 蓄銭叙位令が出された。
- ウ 橘奈良麻呂の変が起こった。
- エ 渤海からの使節がはじめて国交を求めてきた。

問11 下線部 k について、道鏡に関する記述として誤っているものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 道鏡は法相宗の僧侶であった。
- イ 道鏡は孝謙太上天皇の病を癒したとしてその信任を得た。
- ウ 太政大臣禅師となった道鏡は、翌年に法王の称号を得た。
- エ 称徳天皇の没後、道鏡は下野国分寺に追放された。

問12 下線部 l について、和気清麻呂に関する記述として正しいものはどれか。次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 清麻呂は石清水八幡宮の神託が偽託であると復奏した。
- イ 清麻呂は薩摩国に配流されたが、後に許された。
- ウ 清麻呂は恵美押勝を後ろ盾とし、孝謙天皇と対立していた。
- エ 清麻呂は桓武天皇に平安遷都を上奏した。

## 日本史

〔Ⅱ〕 次の5人の人物が詠んだ和歌を読み、後の問いに答えよ。なお、一部原文の表記を改めたところがある。

和歌1 源頼朝

の 言わでしのぶは えぞ知らぬ 書き尽くしてよ 壺の石ぶみ  
(  和歌集)

和歌2 源実朝

山はさけ 海はあせなん 世なりとも 君にふた心 我あらめやも  
(  和歌集)

和歌3 後鳥羽天皇

我こそは 新島守よ  の海の 荒き波風 心して吹け  
(遠島百首)

和歌4 足利尊氏

今むかう 方は明石の 浦ながら まだ晴れやらぬ わが思いかな  
(  和歌集)

和歌5 足利義満

たのむかな 我がみなもとの  ながれの末を 神にまかせて  
(新後拾遺和歌集)

問1 空欄   に入る国名を、次のア～クのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

|      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| ア 隠岐 | イ 対馬 | ウ 壱岐 | エ 佐渡 |
| オ 出羽 | カ 陸奥 | キ 伊豆 | ク 相模 |

問2 空欄 A ～ C に入る語句を，次のア～カのなかからそれぞれ一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。なお，それぞれ別の語句が入る。

ア 金槐                      イ 古今                      ウ 新古今  
エ 拾遺                      オ 後拾遺                      カ 風雅

問3 和歌4を詠んだ人物が帰依した僧侶を，次のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 夢窓疎石              イ 無学祖元              ウ 蘭溪道隆              エ 桂庵玄樹

問4 空欄 3 に入る語句を，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 竜田川              イ 石清水              ウ 吉野川              エ 巨椋池

問5 和歌5を詠んだ人物は，守護に対してどのような方針でどのように行動したのか。3つ以上のできごとを挙げ，80字以内で説明した文章を，解答欄に記述せよ。句読点も1字に数える。算用数字は1マスに2字記入してもよい。

下書き用(横書き，20字×4行＝80字)→

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 日本史

〔Ⅲ〕 次の文章①②を読み、後の問いに答えよ。

①

「ンだ、千人も、二千人もだ」

清兵衛が意気こんで言った。

「このまんまだど、莊内の百姓は丸潰れになるさげのう」

「ンだども、果して<sup>a</sup>そんげ人が集ま<sup>ふる</sup>がのう」

辰之助は額に皺を寄せた。自分でさえこんなに身体が顫え出すほど恐ろしいのだ。それではと刑罰を覚悟で江戸に訴えに行く人間が果して集まるだろうか。

「人集べで話してみねば解らねども、今の殿さまが<sup>b</sup>ほがさ行ったら、明日から俺だはどうなんなだろていう心配は、みんなさあるわけだ。ンださげ、

A の殿さまが来っど、今度はこういうことになっぞとわけ話すれば、人も集まんやねがと思うどものう」

「わがりました」

辰之助は言った。野を越え、山を越え、百姓たちが、暗い空の下を南下する光景が、またちらと頭を掠めた。それは先祖もやったことがないことだった。昔、<sup>c</sup>他領の人間が江戸に越訴して、厳しく罰された話を聞いた記憶があるだけだった。だが莊内の百姓の気持を訴える方法はそれしかなかろうとも思った。国替えのことを知ったときから、そういう気持がどこかにあったように思う。だが自分がそれを始めるとは思いもしなかったことである。

「そうど決まれば、早速にかがるしかねえの。幸い組の方からの用事が、二、三ねえわけでもねえさげ、村々の<sup>d</sup>肝煎衆がら集ばってもらって、話出してみがの」

「そうしてもらうがの」

「これは、にわがに忙しくなってきたのう。願書も起草さねまねし、どごのどなたさ願書上げるか、まだお屋敷さ行くか、駕籠訴<sup>e</sup>にすつが、どっちが有利だもんだが、調べてみねまねし」

「金もかがるだろのう」

と長右衛門が言った。

(藤沢周平『義民が駆ける』中央公論社、1995年改版、91～92頁)

②

藤沢周平の『義民が駆ける』は、1840(天保11)年に発令された三方領知替えを題材にした歴史小説である。①の文章は、領知替えを知った庄内(荘内)の百姓たちの会話部分である。三方領知替えは、 A  藩の財政を援助する目的から命じられたとされる。同藩は、相模の海岸防備を幕府から命じられており、大きな負担を強いられていた。当時の A  藩の藩主は、大御所徳川 B  の息子であった。そのため A  藩に有利な領知替えが発令されたとみられている。しかし、これに庄内藩と C  藩が、巻き込まれた理由は定かではない。

このことについて少し視野を広げて考えてみよう。

1840年は、清と D  の間でアヘン戦争<sup>f</sup>の勃発した年である。日本にも、本格的に列強が迫りつつあった。 A  藩が相模の海岸防備を命じられていたのも、そうしたことへの対応であった。譜代大名の動員によって江戸近海の防備が固められる一方で、日本海側の防備は手薄だった。日本海側には外様大名の領知も多い。この頃の幕府は、日本海側に防備の拠点<sup>g</sup>を設ける必要を強く認識していたのではなかろうか。実際、1843年に抜荷をめぐる不取締まりから、新潟港が C  藩領から幕府直轄領となった。これは、新潟港の海防拠点としての役割を期してのことでもあったろう。庄内藩もまた酒田港<sup>h</sup>を有していた。すなわち A  藩との領知替えに巻き込まれた藩は、いずれも日本海側に流通上のみならず戦略上も重要な港を有していたのである。

幕府は、領知替えをすることで、それぞれの藩と港との結びつきを切断し、後の直轄領化の布石としたかったのではないか。 A  藩の財政援助の裏に、こうした幕府の目論見を看取することもできそうだ。

あなたはどのように考えますか。

### 【参考文献】

青木美智男『藤沢周平が描ききれなかった歴史—『義民が駆ける』を読む』(柏書房、2009年)

## 日本史

問1 下線部 a に関して、彼らは1840年、幕府による領主の移転強制に反対し一揆をおこしたが、その一連の様子を描いた絵巻物の名称として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 夢の代                      イ 慎機論                      ウ 夢の浮橋                      エ 戊戌夢物語

問2 下線部 b に関して、この地を治めた大名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 堀田氏                      イ 池田氏                      ウ 佐竹氏                      エ 酒井氏

問3 空欄 

|   |
|---|
| A |
|---|

 に入る地名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 川越                      イ 姫路                      ウ 前橋                      エ 宇都宮

問4 下線部 c に関して、この内容から想起される歴史上の人物としてもっとも適切なものを、次のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 大塩平八郎                      イ 佐倉惣五郎                      ウ 二宮金次郎                      エ 後藤庄三郎

問5 下線部 d について述べた文章として誤っているものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 草分け百姓の世襲が多かった。  
イ 主に関東では名主、関西では庄屋と呼ばれた。  
ウ 村内に領主からの法令を伝達した。  
エ 代官と組頭とともに村方三役と呼ばれた。

問6 下線部 e は直訴のひとつの形態で、実際に庄内の百姓らは1841年1月20日にこれを大老・老中らに対し実施した。その対象となった人物として正しいものを、次のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 井伊直弼      イ 水野忠邦      ウ 大岡忠相      エ 松平定信

問7 空欄  に入る名前として正しいものを、次のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 家治      イ 家斉      ウ 家慶      エ 家定

問8 空欄  に入る地名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 米沢      イ 村上      ウ 長岡      エ 高田

問9 空欄  に入る国名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アメリカ      イ イギリス      ウ スペイン      エ ロシア

問10 下線部 f の結果、締結された条約名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 南京条約      イ 北京条約      ウ 香港条約      エ 上海条約

問11 下線部 g に該当する大名として誤っているものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 前田氏(加賀藩)      イ 佐竹氏(秋田藩)  
ウ 津軽氏(弘前藩)      エ 酒井氏(小浜藩)

## 日本史

問12 下線部 h を起点とし、江戸に至る東廻り海運・西廻り海運のルートを整備した人物を、次のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 宮崎安貞      イ 角倉了以      ウ 河村瑞賢      エ 工藤平助

問13 下線部 h を寄港地とした、18世紀後半以降に活発となる廻船の名称として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 菱垣廻船      イ 内海船      ウ 樽廻船      エ 北前船

## 〔Ⅳ〕 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

日本では、諸外国における産業革命や各国との関係の影響を受けながら、江戸時代末期の開港により本格的な貿易が行われるようになった。輸入超過は金銀の流出をもたらして国を貧しくし、外国からの借入れでこれを補うことは、国の独立を危うくすると考えられた。

明治政府は、欧米列強に範をとった近代化につとめ、憲法・軍隊・議会などの諸制度を整えていった。また、近代化政策を進めるうえでの重要な課題であった財政の安定のため土地制度・税制の改革を行った。

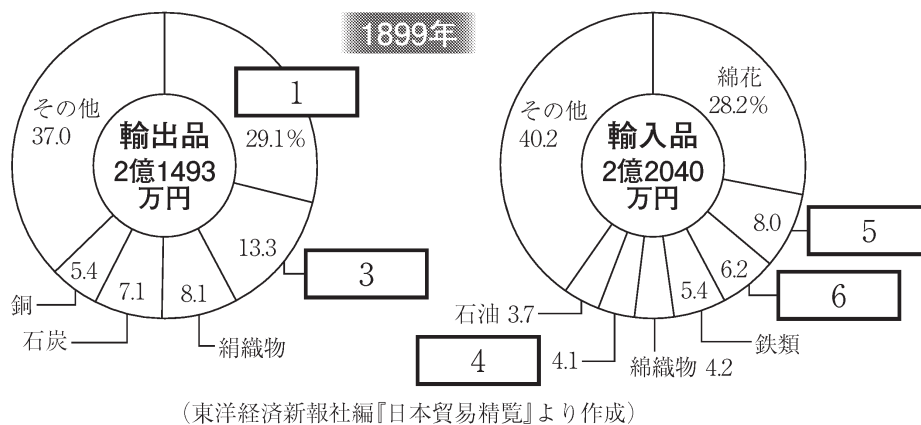
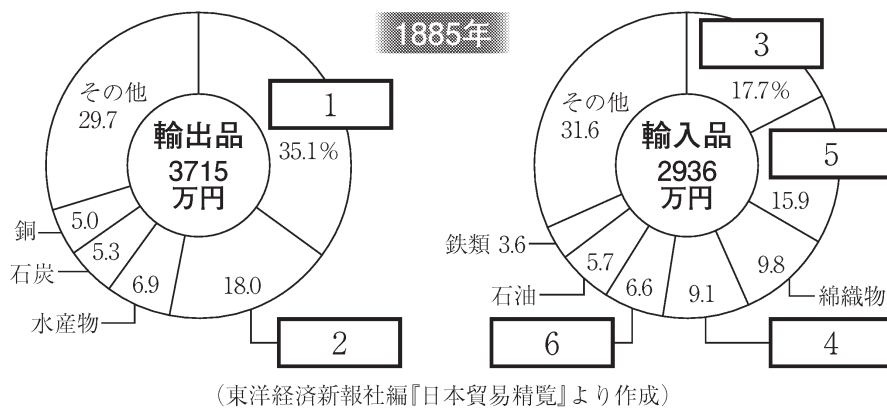
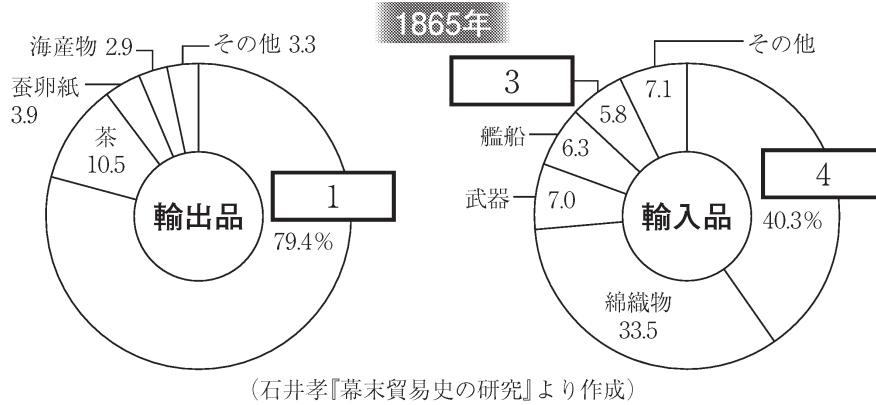
明治政府は殖産興業に力を注ぎ、日清戦争前後のころには軽工業を中心に産業革命が進んだ。そうしたなかで、旧幕府が欧米諸国と結んだ貿易条件は、独立した国家として富国強兵を目指す明治政府にとって重要な検討課題であった。また日本の近代産業の発展においては、通貨と銀行の制度整備が一定の役割を果たした。

日清戦争の勝利で巨額の賠償金を得た政府は、戦後これを利用して軍備拡張を推進するとともに、金融・貿易の制度面の整備を進めた。こうしたなかで産業革命が進展し、重工業が形成されていった。民間業者の有力なものは財閥へと成長した。

日本では持続的な経済成長が1880年代後半以降に始まった。日露戦争後には、輸出が増加していく一方、原料綿花や軍需品・重工業資材の輸入が増加し、貿易収支はほとんど毎年のように大幅な赤字であった。1920年代の日本経済は、電力関係の重化学工業の発展がみられたものの、慢性不況の状態にあった。外国為替相場は、工業の国際競争力の不足にともなう輸入超過と、金輸出禁止がつづくなかで、動揺と下落を繰り返した。政府は、産業政策や財政・金融政策を通じて収支改善を試みる一方、満州や朝鮮、台湾などの遠隔地との経済的つながりにより、外貨の問題を解決しようとした。

## 日本史

問1 下線部 a に関連して、下記の円グラフは、各年における輸出入額の割合を品目別にあらわしたものである。 1 ～ 6 に入る品目名を、次のア～シのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。



- |       |       |       |      |
|-------|-------|-------|------|
| ア 自動車 | イ 機械類 | ウ 陶磁器 | エ 船舶 |
| オ 砂糖  | カ 緑茶  | キ 米   | ク 綿糸 |
| ケ 毛織物 | コ 小麦  | サ 薬品  | シ 生糸 |

問2 下線部bに関連して、下記のX・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X フランス人の法学者ロエスレルらの助言を得て、1886年頃から政府の憲法草案作成が行われた。

Y 各地に鎮台が設置され、1888年には、師団に改編された。

ア X 正 Y 正

イ X 正 Y 誤

ウ X 誤 Y 正

エ X 誤 Y 誤

問3 下線部cにかかわる説明として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 新政府の主な財源は、旧幕府時代のまま受け継いだ年貢で、もとの藩のあいだで税額は統一されていた。

イ 1871年に、田畑永代売買の禁止令を発し、土地の所有権をはっきり認めた。

ウ 地券は原則として従来 of 年貢負担者に交付され、幕府や大名が年貢を受けとる権利は否定された。

エ 地租改正では、物納を金納に改めて税率を地価の5%とし、地券所有者を納税者とした。

## 日本史

問4 下線部 d にかかわる説明として誤っているものを、次のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 関所や宿駅・助郷制度を撤廃し、株仲間を奨励した。

イ 佐渡・生野などの鉱山や炭鉱、造船所を接収し、官営事業として経営した。

ウ 1869年に架設された電信線は、5年後には長崎と北海道までのばされ、欧米とも接続された。

エ 三井・岩崎などの事業家は、政府から特権を与えられ、政商と呼ばれた。

問5 下線部 e に関連して、下記の X～Z は日清両国のあいだの出来事を述べたものである。X～Z を古い順から並べた組み合わせとして正しいものを、次のア～カのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

X 豊島沖海戦では、日本軍艦3隻が清軍艦2隻を撃破した。

Y 日清修好条規を結び、相互に開港して領事裁判権を認め合った。

Z 日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権李鴻章のあいだで下関条約が結ばれた。

ア X－Y－Z

イ X－Z－Y

ウ Y－X－Z

エ Y－Z－X

オ Z－X－Y

カ Z－Y－X

問6 下線部 f にかかわる説明として正しいものを，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1880年に政府は，中央銀行として日本銀行を設立した。

イ 政府は1872年に国立銀行条例を定め，第百五十三国立銀行まで順次設立された。

ウ 不換紙幣の国立銀行券が流通し，西南戦争の戦費をまかなうため政府紙幣が増発されたことから，激しいデフレーションが生じた。

エ 政府は1885年，日本銀行に銀兌換紙幣を発行させるとともに政府紙幣の兌換を始めた。

問7 下線部 g に関連して，日清戦争前後の近代産業にかかわる説明として正しいものを，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1897年に政府は銀本位制を採用し，貨幣価値の安定と貿易の振興がはかられた。

イ 鉄道や紡績を中心に，1890年代には最初の企業勃興と呼ばれる会社設立ブームがおこった。

ウ 輸出の増加に刺激され，1890年代後半には在華紡が拡大した。

エ 1890年に，最初の恐慌がおこり，紡績連合会が操業短縮を実施した。

問8 下線部 h に関連して，財閥にかかわる説明として誤っているものを，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1900年以降，軍事工場や造船所，鉱山や紡績など官営事業の払下げをつぎつぎと受けた。

イ 三井・三菱・住友・安田は四大財閥と呼ばれた。

ウ 三井・三菱などは，金融・貿易・運輸・鉱山業などを中心に多角的経営を繰り広げた。

エ 三井・三菱などは，持株会社を設立し，コンツェルン(企業連携)形態を整えた。

## 日本史

問9 下線部 i に関して，金輸出禁止の措置を日本がとった年を，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1914年              イ 1915年              ウ 1916年              エ 1917年

問10 下線部 j に関連して，下記の X・Y について，その正誤の組合せとして正しいものを，次のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

X 台湾銀行の融資に支えられて成長した鈴木商店は，1899年に倒産した。

Y 1906年に，関東州と南満州鉄道の警備を任務として，関東軍が設置された。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | X | 正 | Y | 正 | イ | X | 正 | Y | 誤 |
| ウ | X | 誤 | Y | 正 | エ | X | 誤 | Y | 誤 |

(白 紙)